

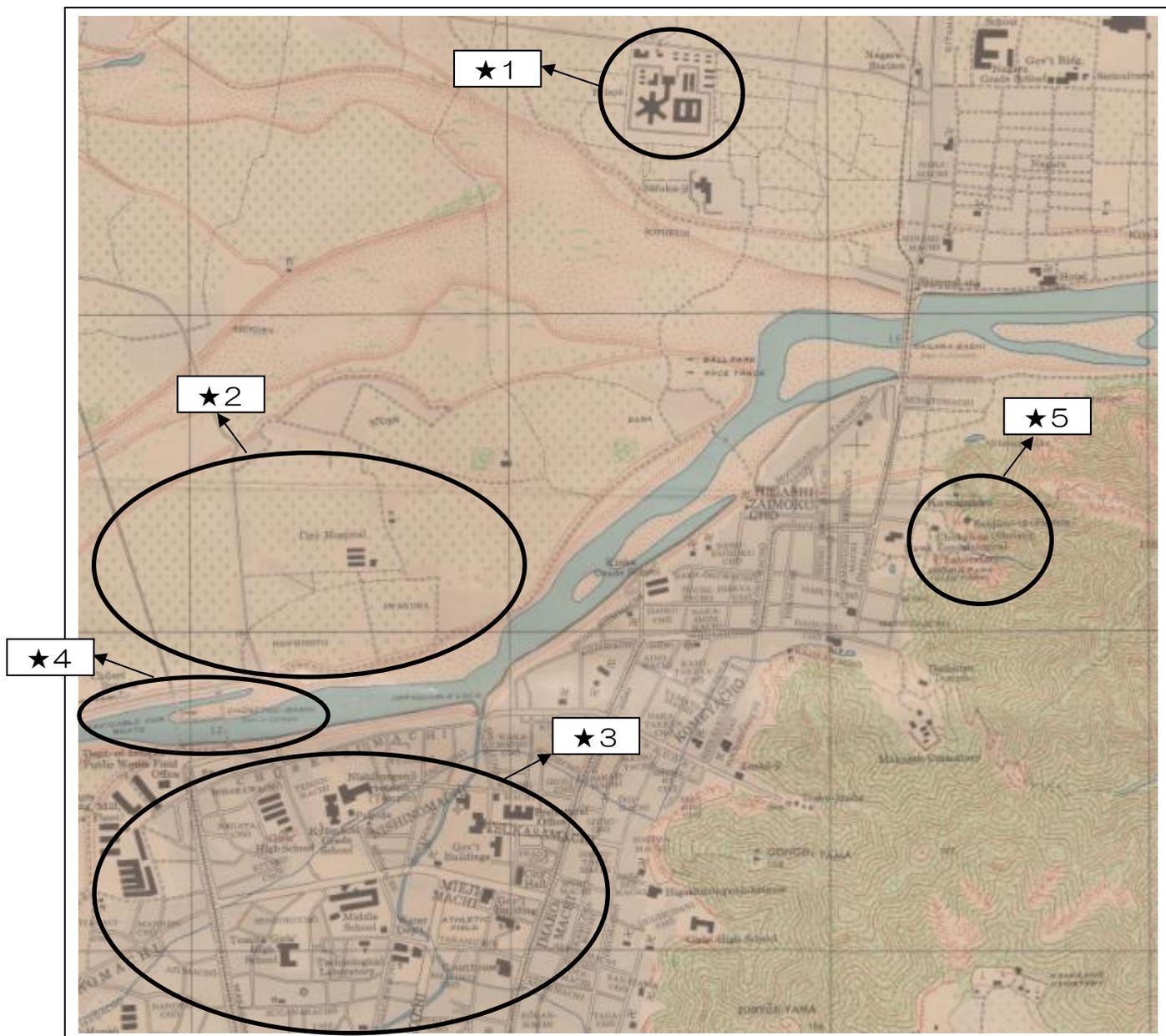
授業で使える当館所蔵地図

No. 58 『JAPAN CITY PLAN 1/12, 500「GIFU」』

作成年：不明

サイズ：66×45cm

作者：旧アメリカ合衆国陸軍地図局



【解説】

AMSとは、旧アメリカ合衆国陸軍地図局（U.S Army Map Service）の略称で、1940年から1960年前後にかけて、様々な国・地域の地図作製機関と共同で世界各地の地形図や都市図などを、戦略等を目的として収集・作製していた機関である。都市図は「一般図」、「爆撃図」、「被爆分布図」などに分類される。同図は当時の地形環境や米軍の戦略等を知るうえで大変貴重な史料である。

★1 岐阜刑務所

昭和初期までは岐阜市美江寺にあったが、1925（大正14）年に長良の地に移転し、1984（昭和59）年に現在の岐阜市則松に移転した。現在、長良の跡地は岐阜市立長良中学校、サッカーなどの屋外競技場「長良川球技メドウ」として利用されている。この地図が作製されたと思われる1947（昭和22）年の岐阜市地形図と比較すると、その建物の構造までも正確に表されていることが分かり、刑務所の建物の構造がうかがえる。

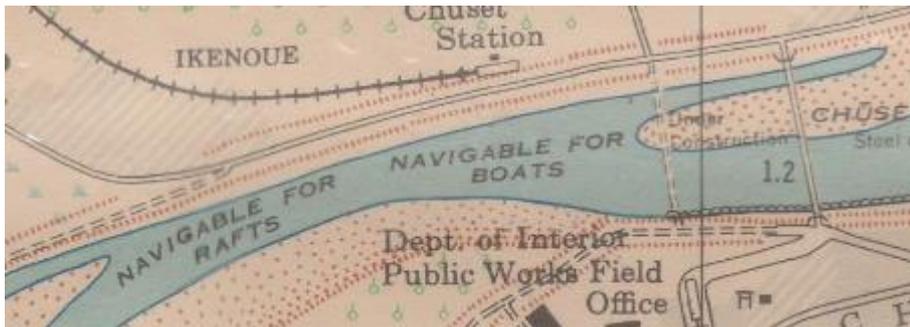
★2 忠節橋北部

現在、忠節橋北側一帯は住宅地となっている。しかし、この地図を見ると、市民病院以外の建物は見られず、道路も通っていない。なお、1947（昭和22）年の岐阜市の地形図では、この一帯は桑畑の地図記号が見られるが、本地図においては果樹園の地図記号が用いられている。

★3 忠節橋南部

忠節橋南部には多くの建物が見られる。AMSにおいて、本地図は「爆撃図」に分類されると考えられる。公共施設、学校、工場、寺院、軍事施設が黒色で目立つように表示され、周辺の市街地は薄い黒色や斜線で表されている。

★4 長良川



岐阜県郡上市に源流を發し、多くの支流と合流し木曾三川の一つとして伊勢灣に流れ込む。日本の地形図には見られない「NAVIGABLE FOR RAFTS（ラフトで通行可能）」、「NAVIGABLE FOR BOATS（ボートで通行可能）」という表記が見られる。また、併せて水深がどれほどであるかも示されている。AMSが戦略を目的としていたことがここでもうかがえる。

★5 金華山



岐阜市のシンボルともいえる標高329mの山である。旧名である稲葉山の表記も見られる。本地図では等高線の表記では300m以上であるが、山頂の三角点横には138.5という数字が記載されている。誤表記であるのか不明である。

【利用の例】

○現在との土地利用の違いを比較することができる。

→地理的分野の「身近な地域の調査」において、公共施設の変遷や土地利用の違いを地図上で確認することができる。

○日本と海外の地図の違いを比較することができる。

→日本の地図とアメリカ合衆国が「爆撃図」として目的をもって作製された地図と日本の地形図では表記されるものがことなることが分かる。

（例）黒色で示された建物、川の水深、市街地の表し方など